

## 「地域の縁がわ」って？

日の当たる「縁がわ」は、隣近所の人たちがおしゃべりしたり、子どもたちの遊ぶ様子を見守ったり、お年寄りから若い母親に子育ての知恵を伝えたり、時には収穫した野菜を選別したりといろいろな人の交流の場でした。

熊本でも昔ながらの「縁がわ」はあまりみられなくなりましたが、商店街の空き店舗や空き校舎を活用した「住民交流サロン」や「地域のふれあい交流拠点」など、新たな居場所が形成されています。



## どんな「地域の縁がわ」があるの？

地域の公民館、保育所や高齢者施設などの社会福祉施設、空き店舗や廃校舎などを利用し、住民有志や自治会、NPO法人、社会福祉法人など多様な主体により、様々な「縁がわ」が運営されています。

- ▼自治会が主体となって公民館等を交流の場として活用し、地域の誕生会や一人暮らしの食事会等を開催する等、「住民団体が中心となって運営する地域の縁がわ」
- ▼子育て支援センターや保育所に地域住民との交流スペースを併設した「子育て支援中心の地域の縁がわ」
- ▼小規模多機能型居宅介護事業所や認知症高齢者グループホームに地域住民との交流スペースを併設した「高齢者の支援を中心とした地域の縁がわ」
- ▼地域活動支援センターや就労支援施設等に地域住民との交流スペースを併設した「障がい者の支援を中心とした地域の縁がわ」

## 「地域の縁がわ」ではなにをしているの？

地域の縁がわは人々が集う場所であることを活かして、地域課題の解決や支え合い活動の拠点となるのが期待されています。県では、取り組み団体の特長を生かした取り組みを基本としつつ、「地域の縁がわ5つ星プロジェクト+α(プラスアルファ)」として、次の5つの取組みにICTや防災活動等を取り入れた地域福祉活動を推奨しています。



### ～ 「地域の縁がわ5つ星プロジェクト+α」 ～

- 見守り活動**  
地域の高齢者・子ども等への声かけや定期的な訪問、ジュニアヘルパー等による取組み
- 配食・会食サービス**  
一人暮らしの高齢者等地域住民の安否確認や交流を目的とした配食や会食
- 買い物支援**  
高齢者や障害者・子育て中の母親など、買い物等が困難な方あるいは困難な地区における移動販売や買い物代行等の取組み
- 生涯現役を支えるための健康づくり**  
介護予防・認知症予防のための健康教室や口腔ケア活動等の交流事業
- 学びの縁がわ**  
高齢者や退職者等の力を活用した地域の子どもの学習支援や世代間交流等の取組み、手芸教室や伝承活動などの取組み
- +α 5つ星+α(プラスアルファ)**  
5つ星の取組みにICTや防災活動等、新たな手法や視点(+α)を取り入れた地域福祉活動

## 「地域の縁がわ」相談窓口

「地域の縁がわ」に取り組もうとする団体への立ち上げ支援、相談対応や情報提供等を行っています。各種相談、登録票の提出等については、こちらにお問い合わせください。

| 窓口                             | 住所                   | 電話番号         |
|--------------------------------|----------------------|--------------|
| 熊本県健康福祉政策課<br>地域支え合い支援室        | 熊本市中央区水前寺6丁目18-1     | 096-333-2201 |
| 県央広域本部<br>宇城地域振興局総務福祉課         | 宇城市松橋町久具400-1        | 0964-32-2416 |
| 県央広域本部<br>上益城地域振興局福祉課          | 上益城郡御船町辺田見396-1      | 096-282-0215 |
| 県北広域本部 福祉課                     | 菊池市隈府1272-10         | 0968-25-0689 |
| 県南広域本部 福祉課                     | 八代市西片町1660           | 0965-33-8756 |
| 天草広域本部 福祉課                     | 天草市今釜新町3530          | 0969-22-4241 |
| 健軍くらしささえ愛工房<br>(特定非営利活動法人おーさあ) | 熊本市東区栄町2-15 県営健軍団地1階 | 096-214-0003 |

## 「地域の縁がわ」への支援

「地域の縁がわ」づくりを推進するために、熊本県では、次のような支援を行っています。

### ●地域福祉総合支援事業補助金

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 【ハード補助】「地域の縁がわ」の修繕や増改築等工事、施設整備等に係る費用を補助します。                     | 補助率 : 2/3以内<br>補助上限額 : 100万 |
| 【ソフト補助】5つ星+αの取組みや地域の先駆的な交流事業、地域のニーズや課題に対応する地域福祉活動等に要する費用を補助します。 | 補助率 : 2/3以内<br>補助上限額 : 100万 |

※令和2年7月豪雨による被災地での取組みや「5つ星+α」の取組みに対しては、補助率や補助上限額を引き上げます。(令和4年度(2022年度)現在)

### ●地域の縁がわ 事例DVD「つながり 共に生きる そこが地域の縁がわ」の貸出

県内各地で取り組まれている「地域の縁がわ」の実践事例を集めたDVDを貸出します。地域活動を始めようと考えている方、地域福祉の研修等にご活用ください。(収録時間約18分)

### ●地域の縁がわ 情報交換会等の開催

各運営団体が抱える課題解決や、活動のさらなる充実を図ることを目的に、地域の縁がわ団体等の情報交換会等を開催します。

## 地域福祉メールマガジン「みんなでのしく輪になって」

熊本県では、地域福祉に関する助成事業の情報、各地域での取り組みやイベント等、様々なニュースをお届けしています。(不定期発行)  
メルマガ配信をご希望の方は、[kuma\_fukumachi@pref.kumamoto.lg.jp] あてに、①事業所・団体名 ②代表者名 ③住所 ④連絡先電話番号 ⑤登録するメールアドレス をお知らせください。

熊本県健康福祉部  
健康福祉政策課地域支え合い支援室 TEL096-333-2201

発行者：熊本県  
所属：健康福祉政策課  
発行年度：令和3年度(2021年度)

歩いて行ける、より身近な場所に、  
皆さんの「地域の縁がわ」を作いませんか？



熊本県では、地域の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、歩いて行ける日常生活圏に、地域の誰もが気軽に集い、支え合う地域の居場所「地域の縁がわ」づくりを推進しています。

熊本県

## 仮設団地の思い出の建物を「地域の縁がわ」へ



地域の縁がわ名：**みんなでつながる おしゃべりカフェ きままに**  
運営団体：NPO法人 益城だいすきプロジェクト・きままに

熊本地震被災後の約3年半、私たちは、避難所としてテクノ仮設団地で新たな絆づくりに取り組んできました。

一方、住まいの再建が進むにつれ、共に暮らした仲間たちは各々新たな地へ移り、ともに寄り添い助け合ってきた「絆」を再び失いそうになりました。

引っ越し先での新たな生活のなかで「仮設団地の仲間会いたい、話をしたい」との声が多く聞かれ、お茶を飲みながら近況を語り合える場があれば…と考えました。

そこで、思い出がいっぱい詰まった仮設団地広場の「舞台」を譲り受け、みんなが気軽に集い交流できる「地域の縁がわ」として再建しました。

週1回の咲き織サロンの軸に、季節の行事、健康づくりや学びの場を通じて、「絆」をつないでいます。



上益城郡益城大字寺迫1326番地3  
E-mail: kimamani@hinokuni.kumamoto.jp

## 一人で頑張りすぎず「みんな」で楽しく子育てを



地域の縁がわ名：**みんなの縁側**  
運営団体：子育てネットワーク「縁側moyai」

県外出身で親戚や友人が近くにいなかったり、パパは仕事で忙しかったりと、この熊本の地で子育てに孤軍奮闘しているママ達がつながる場所になれば…との思いから、「地域の縁がわ」に取り組んでいます。

子育てにまつわるセミナーや季節を感じる交流イベント、おさがり譲渡会など様々な活動を週1～2回開催しています。時には地元先輩ママから子育てのアドバイスをもらったり、いきなり団子や梅干しづくりを教えてもらうなど地域の高齢者にもご協力をいただき、多世代交流も進んでいます。

「大丈夫！かあちゃんが笑顔でいればきっと全てうまくいく！」「みんなですれば楽しさ2倍、つらさ半減」を合言葉に、孤立した育児の防止、ママたちの負担軽減をめざして活動しています。



熊本市南区近見7丁目9-10  
E-mail: engawamoyai@gmail.com

## 靴履きのまま、気ままに集う「地域の縁がわ」



地域の縁がわ名：**ながむら縁側クラブ**  
運営団体：永区（行政区自治会）

私たちの地区では、公民館横にあった古い集荷所を改築して、誰もが気軽に集える「地域の縁がわ」にリニューアルしました。

手押し車の高齢者やベビーカーを押すお父さんお母さん、農作業帰りの地下足袋履きの方など、靴を履いたまま「何かのついでに気軽に立ち寄れる」をコンセプトに、床をコンクリート舗装としました。

また、災害発生時は炊き出しや救援物資の拠点とするため、建物の中まで運搬車両の乗り入れができるよう、間口の広いシャッター出入口も設けました。

この縁がわは、お向かいの神社で遊ぶ子どもたちを見守りながらおしゃべりを楽しむなど、いろんな世代の住民が集う場所となっています。



菊池市泗水町永240番地1 永区公民館  
TEL: 0968-38-4525

## めざすは「近所のおばちゃん家」



地域の縁がわ名：**嘉島町だんだん**  
運営団体：ハンズハンズ

熊本地震後、近隣の仮設住宅に住む被災者を招いた昼食会で、参加者が涙を流して「ありがとう」と感謝してくれたことが忘れられず、地域の方々の喜ぶ顔が見たいという思いから、子ども・地域食堂を月2回開催しています。

地元の農家や企業から食材を提供いただき、調理や配膳には地域住民の方々が応援に駆けつけてくれます。

また、放課後児童クラブの対象とならない小学生を受け入れる「見守りの場」を週2回開催し、学校の宿題、そろばんや習字などを地域の高齢者などボランティアに指導してもらっています。

自宅にこもりがちの人々に、地域の方々と触れ合う機会が生まれ、互いに支え合う場となるよう、誰もが気兼ねなく立ち寄れる「近所のおばちゃん家」をめざします。



上益城郡嘉島町上島1947-2 だん内  
TEL: 080-1718-0168

## コロナ禍でもつながる「オンライン縁がわ」



地域の縁がわ名：**やまが元気倶楽部**  
運営団体：特定非営利活動法人やまが元気倶楽部

私たちは、食料品や衣料等を扱うショッピングビルに「地域の縁がわ」を開設し、介護予防を目的とした運動やビル内店舗での買い物の手伝いを中心に活動を行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛せざるを得ない状況が続きました。外出の機会が減ると、体力の低下だけでなく、認知症の進行などが心配されます。そこで、タブレットで自宅から参加し、脳トレやオンラインで運動を行う新しいスタイルでの取組みを始めました。

参加者からは「慣れるまでは大変。でも、若い世代と同じようなことができると若返った気分」「孫に自慢できる」などの声が寄せられます。

コロナ禍で人と会う機会が少ない中でも「顔が見え、話ができる」ことはとても貴重な時間と実感しています。



山鹿市山鹿1番地 温泉プラザ山鹿3階  
TEL: 0968-36-9238

## 防災訓練で育てるご近所同士の「近助力（きんじょりょく）」



地域の縁がわ名：**熊野地区自主防災会**  
運営団体：熊野地区（行政区自治会）

私たちの地区の公民館は熊野神社の境内にあり、神社祭典や用水路の保全活動など恒例行事が受け継がれている地域です。また老人会の週1回のサロン活動など交流活動も活発です。

これまで大きな自然災害はなかったものの、近くに人吉盆地南縁断層があることや、近年大型化する台風にどのように備えればよいのかがみんなの心配ごとになっています。

高齢者や要援護者がいる世帯も増えており、近所同士で助け合う「近助」も大切だと感じています。

年1回行う防災訓練では15世帯ほどの近所班ごとに安否確認の進め方、初期消火や救助方法など基礎知識をみんなで学びます。

防災訓練の場で広がる住民同士のコミュニケーションは「近助力」を育み、地域の防災力を高めてくれそうです。



球磨郡あさぎり町岡原北637番地 熊野公民館  
TEL: 090-7116-2898